

コード	203010101
記入日	H23.6.10

# 事務事業途中評価表

課コード	119
課名	建築課
課長名	法村 栄三
担当者	戸村 貴樹

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	都市公園管理事業
----------	----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	8
施策コード	203	施策名称	こころを癒す公園・広場・緑地の整備	項コード	5
基本事業コード	20301	基本事業名称	身近な公園整備	目コード	2
事務事業コード	2030101	事務事業名称	都市公園事業費	細目コード	82
関連計画	法令・条例規則等		都市公園法・新上五島町都市公園条例		

## 計画 ( PLAN )

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 住民		(対象指標1)	23,210人 ( H22.4.1現在 )			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 ( 上段：全体、下段：評価年度 )				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	都市公園における維持・管理 ( 公園点検、遊具等の修繕、植栽・施設管理 )	*****	*****	*****	点検回数+点検予定回数	*****
		点検回数	12回	100%	数	平成22年度
		① (達成率分析)	職員が毎月1回の日常点検を計画し、計画通り実施できた。			
		*****	*****	*****	草刈回数/草刈予定回数	*****
		草刈回数	25回	312%	8回	平成22年度
		② (達成率分析)	町振興公社及び業者委託により適宜除草・剪定を実施し、公園の安全・快適に使える環境を維持できた。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 ( 上段：全体、下段：評価年度 )				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	安全に利用できた日数	*****
		安全に利用できた日数	365日	100%	+年間日数	平成22年度
		① (達成率分析)	日常点検を行い、必要に応じ修理又は危険遊具撤去等の策を講じた。当該年度中の事故発生はなかった。			
		② (達成率分析)				
		② (達成率分析)				

## 実施 ( DO )

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	72	82	60	12	12				
	② 回	94	111	86	8	25				
成果指標	① 日	2,191	2,191	1,826	365	365				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	37,799	37,558	30,852	6,947	6,706				
直接事業費 A	千円	17,499	17,258	14,052	3,447	3,206				
人件費 B	千円	20,300	20,300	16,800	3,500	3,500				
内訳	従事職員数	人	2.9	2.9	2.4	0.5	0.5			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	37,799	37,558	30,852	6,947	6,706				

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ない	理由 都市公園管理者である町が行うべきものである。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ない	理由 町民が生活に憩いや安らぎを求める時代背景から公園は必要であり、また、公園内で安全・安心に利用できるような適切な維持・管理が必要。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 不適切	理由 町民を対象とし、都市公園で安全・快適に利用できることを目的にしている。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる いない	理由 年間通して、各公園とも相当の利用者数があり、安全・快適に利用できている。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ない	理由 新しい遊具の積極的な設置・植栽の専門業者の管理による景観の向上により利用者の増、及び地域の活性化の向上。専門業者への遊具の点検委託・公園施設長寿命化計画の策定による安全安心の向上、及び将来の改築に係るコストの低減。バリアフリー化を図る事で、高齢者・障害者を含め、誰もが快適に生活できる都市環境の形成などが考えられる。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ない	理由 公園施設等での事故、草木の繁茂による利用者の減、地域の衰退化、都市の景観への影響、将来のコスト増などが考えられる。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	できる ●できない	理由 本事業で管理していない町管理の公園等は数多くある事から、それらの公園の整理統合が考えられるが、本業務同等の管理をすると仮定した場合、それ相当の経費が考えられる。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	できる ●できない	理由 必要最小限で、運営している。今後、公園施設長寿命化計画の策定による将来の改築に係るコストの低減を図る事を検討する。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる できない	理由 草刈業務は外注(予定)は職員で草刈り、遊具の点検業務は点検員目で支障の職員が行っているが、草刈業務については平成22年度から人件費抑制、効率化の観点から、別所管にて対応するべく庁内に検討されている。遊具点検についても、外注委託が妥当かどうか検討を要する。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい いいえ	理由 受益者負担は発生しない。

改善

改善策	1次評価	妥当性	町民誰もが、都市公園を安全・快適に利用するため必要な事業である。
		有効性	本業務は、公園を安全・快適に利用できるように必要であり、今後、成果を向上させるものとして、新しい遊具の積極的な設置・植栽の専門業者の管理による景観の向上による利用者の増、及び地域の活性化の向上。専門業者への遊具の点検委託・公園施設長寿命化計画の策定による安全安心の向上、及び将来の改築に係るコストの低減。バリアフリー化を図る事で、高齢者・障害者を含め、誰もが快適に生活できる都市環境の形成が図られるなど、今後検討する必要がある。
		効率性	草刈業務の外注の増、点検業務の外注による人件費の減が考えられる。また、公園施設長寿命化計画の策定による将来の改築に係るコストの低減が考えられる。
	2次評価	課題に向けた改善策	公園内草刈業務については、人件費、事業費の縮減の観点から、別所管にて庁内草刈業務を一括して外注する方向にあるが、植栽剪定は含まれず、草刈においても必要な時期に実施され、住民が通年利用する公園の環境向上につながるかどうか連携・調整が必要である。
		妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	公園遊具等の維持・管理には万全を期し、利用者に事故がないよう努め、快適な公園環境を提供すること。
効率性	公園管理においては、町の財産管理課、地域の愛護団体へ協力もお願いしながら経費の削減に努めること。		

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。